

幸せと信頼をお届けする
鳩通信 3月号
 くぐい(=白鳥)だより



鳩通信(くぐいだより) 第68号
 発行日: 平成21年3月1日
 発行人: 白鳥 政之
 〒430-0814静岡県浜松市南区恩地町192
 白鳥内科医院
 定価: 500円

どうして、どうして、あそこであんなに怒るんだらう?」

「あやまれば済むのに、どうしてあそこまで突っぱねるんだらう?」

職場や家庭、あるいはTVを見ていて、そんな疑問を抱いたことはありませんか?私「相手がこう行動してくれたらいいのに」と思った事がありました。そして、答えのない迷路に何時間も迷い込んだり、反発した経験があります。でも今は、そんなことも減多になくなりました。今月は、セミナーで学んだ事と私の経験をお話ししたいと思います。

■「困難に直面した時の行動パターン」を知る?

「我慢していて最後に爆発する」
 「つい軽い嘘をつく」
 「いつもキレる」
 「泣く」

あなたは過去の困難をどう乗り越え、あるいは乗り越えられずにいましたか? 「人それぞれの困難に向き合った時のパターンは、幼少期にできあがり、本人が自覚していなくても、社会にでたあとでも、同じようなパターンを表わすもの」であり、それはほとんどワンパターンだそうです。

その話を聞いて、私が最初に思い出したのは、小学校四年生の時、浜松市から磐田市に引っ越した友人宅へ遊びに行こうと、別の友人と計画した時のことでした。しかし、直前になってその友人の母親が子供同士で遊びに行くことを許してくれませんでした。私も母親に「やっぱりやめる」と伝えたら、「友達に行く約束したなら、絶対行きなさい」と、代わりに幼稚園児の弟を連れて行くよう叱られました。しかたなく弟の手を握ってバス停に向かい、初めて弟とバスに乗りました。初めての磐田駅で、初めてのバスの乗り換えです。案の定分からなくな

「幸せと信頼の伝道者」
 看護師チーフ
 伊藤 真澄



「幸せと信頼の伝道者」
 看護師チーフ
 伊藤 真澄

「人それぞれの困難に向き合った時のパ

次のページに続く

診察・CT受付



053-427-0007

頭痛・めまい・物忘れ
 「ねたきり」予防

脳検査・治療センター

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:30	○	○	○	-	○	○	○	○
15:30~18:30	○	○	-	-	○	-	-	-

白鳥内科医院

検索

◀ サプリ選びに悩んでいるあなたに。天然素材の安心サプリ、ご紹介できるようになりました。(2ページ中ほど)

り、泣き出した。泣きたい気持ちになりました。でも、弟の前で泣くわけにもいかず、まずは、優しいような女性を探し、勇気をだして声をかけました。その女性は親切に教えてくださり、三十分程バスに揺られたのちに、無事に友人宅に着きました。久々に友人と再会でき、楽しい時間を過ごした思い出です。

今ふりかえると、はじめは嫌でも、人(母)から指示されると、仕方なく行動する(ここは素直に従う)。そのなかで、人に聞いたり、自分なりに行動してみたりして、困難を乗り越えてきたように思いました。

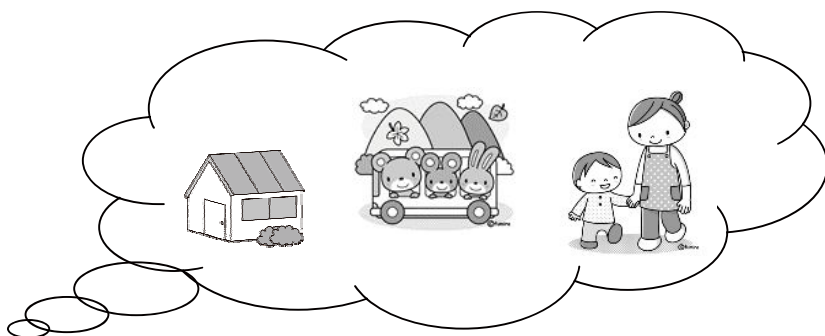
■ある朝のできごと

さて、当院に勤務してからはどうだろう?と思い起こしてみました。実は、二年位前までは、院長と意見があわずに衝突することが度々ありました。

かつての私は、この困難にひどく悩んだり、反発していました。一方で、そんな自分の対応のありかたが「このままではいけない」と、頭では分かっていたがうまく行動できていませ

んでした。そのころ、院内で、院長が招いた大原鶴美先生の講義を受け、一週間ごとに「尊敬した人・出来事」と、「自分に取り入れたこと」と書き出すよう課題が与えられました。しかたなく、提出ネタを探しながら仕事をしていました。

そんなある朝、院長から自分の態度について注意を受けたのです。(以下来月に続く)



「折角だからいいものを」というあなた。院長にご相談するか、同封パンフのハガキに記入後切りとり、投函して下さい。

- ドクター基準の安心サプリ
- 天然ビタミン・ミネラル
- メモリーサポート

豪&淳
東京だより

「キョービの高校・小学生事情」を教えてください。甥からのお便りです。豪&淳は、子供のない院長のお友達みたいなもの。ほぼ毎月交互に話題をお送りします。

(その11)

高1

豪

歩いた!
見た!
食べた!

ルネッサンスの花開いたフィ
レンツェで、本物を探求

2回目

■一月一日(三日目)

さすがに元旦は、開いているところも少なめ。ということの下見も兼ねてまあちやんと玲子さんと町をゆっくり散歩。

しかし、リツカルデイ宮(メデイチ家の居宅兼オフィス)で開かれていたラファエツロ展を偶然発見。「ひわの聖母子」に感激。修復され、目の覚めるような青と赤のコントラストの衣装に、どこか淋しげで暗さのある聖母子の表情。風景の遠くなるにつれて薄くなつていく色のグラデーションの繊細さ。何分見ても飽き

ない一枚だった。聖母の衣装には、モルドの国、イタリアの原点を実感。こんな色の服が欲しい。

ダ・ヴィンチやミケランジェロではなく、「**絵画の色使いにおいては、ラファエッロが一番なのでは**」と思わされた。思いがけず充実した、一日となった。



ひわの聖母子

■一月二日(四日目)

朝、まずは**アカデミア美術館**に。

ここはなんととってもミケランジェロのダビデ像だろう。初めに、その大理石の大きさに圧倒され、続いて筋肉や骨の質感といったディテールに驚く。冷たい目の中にあるハートの形の瞳孔も印象的だった。

次に向かったのは**バルジェッロ美術館**。

この目玉の一つも、同じくダビデ像なのだが、受ける印象は全く違う。こちらはドナテッロの青銅製。少年のようなダビデ像だ。青銅のつややかさがよく出ていて、筋骨隆々なダビデにはない繊細さを感じた。また、ここには他にもミケランジェロなどの作品があり、中庭や階段も美しく、とても良い美術館だった。

そしてこの日は

念願の**ペルケ・ノのジェラート**を食べることに**成功**。

年末年始は、有名店といえど、お休みの多いのだ。評判通りとても美味しい。僕はこの後も一人で何度か行ったのだが、どのジェラートにも**共通のなんとも言えない粘り気**がある。やはり「日本のアイスとは違うな」と実感した。



ジェラート



ダビデ像



バルジェッロ美術館



アカデミア美術館

午後は、力強い石組のインパクトが強い**サンロレンツォ教会**。デッラ・ロツピア作・彩色陶板の受胎告知、ギルランダイオの絵を静かに鑑賞できる捨て子養育院などを巡り、大満足な一日だった。このころから、「二人行動」の許可が出るようになり、のびのび！（来月最終回）



サンロレンツォ教会



デッラ・ロツピアの受胎告知

「次のページは、あなたからの嬉しい声♪」



他では十種類あった母の薬を、三種類まで減らすことができました。山田大樹（仮名）さん（三十七歳）

あなたからの『嬉しい声♪』

第25回

父（多発性骨髄）の病状（癌の激しい痛み）に毎日接している母は精神的疲労から精神科に通うようになりました。そこでは通院するたびに症状を訴えると薬が新たに処方されるような状態でした。そして、薬の種類がどんどん増え、いつの間にか下記のような悪循環に陥っていました。

薬の種類が増える→頭がモウロウとしてくる→薬の自己管理ができなくなる（母の場合、余計に服薬してしまう）→さらに頭がボーッとしてくる→認知症のような症状が出てくる

認知症っぽい言動が目立ち始めた頃、インターネット検索で「白鳥内科医院」に出会いました。土、日も開院しているので働いている私にとって、母の通院の付き添いも難しいものではありませんでした。

早速、日曜日に予約を入れてみました。しかし、前日土曜日の朝、母はロレツがまわらなくなってしまいました。脳梗塞でも起きたのかと思い、白鳥さんに電話してみると「とにかく連れてきて下さい」との事でした。

CTなどの諸検査の結果は特に異常はなかったようです。原因は余計に服薬してしまった事によるものだと思います。

この一件から、薬の管理を私がするようになりました。そして白鳥先生と相談しながら、薬の種類や量を徐々に減らしていきました。

現在、**白鳥先生にお世話になって半年ほど経ちますが、当初 10 種類ほどあった薬を 3 種類まで減らせることができました。**また、私の出勤前に当日の薬を3回分小袋にわけて渡すような日常が毎日続いています。

その結果、闘病中の父と接することには変わりないですが、**母の表情は非常に良くなったと思います。**

白鳥先生に出会えてとても良かったと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

「ドクター白鳥から」

「問題を解消しようとしたら、新たな問題が起こってしまった。」

そんな経験はありませんか？

たとえばこの季節。参考書を買って勉強したが、わからない。そこで、さらに新たな参考書を購入した。それでもわからず辞典を買った。あげくの果てには整理用の本棚を購入した。そんな場合でも、決して参考書が悪かったわけではありません。一番必要なのは、やさしい参考書を繰り返し返すことだったのに、参考書との付き合い方が悪かっただけです。

山田さんのお母様の場合も、薬そのものが悪かったわけではないでしょう。しかし、お薬との付き合い方をちよつと間違えただけで、「逆に、薬を減らすことが解決方法だった。」ということになりかねません。

これは、医療の奥深く難しい点ですが、**しばしば見かける出来事**です。もしあなたの家族がそうなら、ご相談ください。



ドクター白鳥



母, 山田さん



息子, 大樹さん

始まりは「とにかく連れてきて下さい」でした。

頭痛・めまい・物忘れ・「ねたきり」予防

脳検査・治療センター

白鳥内科医院

検索

☎427-0007 まで。